

世界難民の日

関西集会2025

6月29日 14:00~16:00

場所:大阪市立生涯学習センター



会場:大阪市立総合生涯学習センター5F 第1研修室
(大阪駅 梅田駅から徒歩5分)

オンラインでも配信

申し込み:QRコードから申し込みください。
参加費:無料 (可能な方はご寄付をお願いいたします)。
主催:特定非営利活動法人 RAFIQ
協力:公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本

問い合わせ RAFIQ

TEL・FAX:06-6335-4440

Mail:rafiqtomodati@yahoo.co.jp

HP:http://rafiq.jp/



ご寄付は

このイベントでは、日本の入管制度について考えます。

昨年6月に新しい入管法が実施されてから1年が経過しました。日本の入管施設(大村・大阪・名古屋)の現状を調査し、韓国の入管収容所と比べながら、課題や改善の方向性を探ります。さらに、難民として生活する人たちの声や、彼らを支える支援団体の活動を紹介しながら、日本の難民政策の未来を考える場とします。

スケジュール> 報告1 「日本の入管の状況報告」

大阪・名古屋・大村入管の報告の報告

講演 「韓国の入管収容所の状況」

呉泰成(オ・テイソン)さん

報告2 「関西の難民支援の現場から」

RAFIQ より

登壇者>

・呉泰成(オ・テイソン)さん 移民、難民、外国人労働者、国籍、シティズンシップ、朝鮮族など幅広く研究、特に日本や韓国の難民認定制度や外国人収容施設の問題についての研究者

・大村入国管理センター報告者 井上幸雄さん

「移住労働者と共に生きるネットワーク・九州」共同代表。

・大阪入管参観 報告者 山田知純さん

アムネスティ日本 入管・多文化共生チーム

・名古屋入管参観 報告者 中島正人さん

アムネスティ日本 わやグループ

・田中恵子 RAFIQ 代表理事

大阪・大村入管の2024年の参観に参加

2002年より入管収容所を訪問

現在50名ほどの難民を支援、2025年2月大阪高裁でLGBT訴訟勝訴、